

野洲川河口部ヨシ帯再生事業

～地域と連携したモニタリングの取り組みについて～



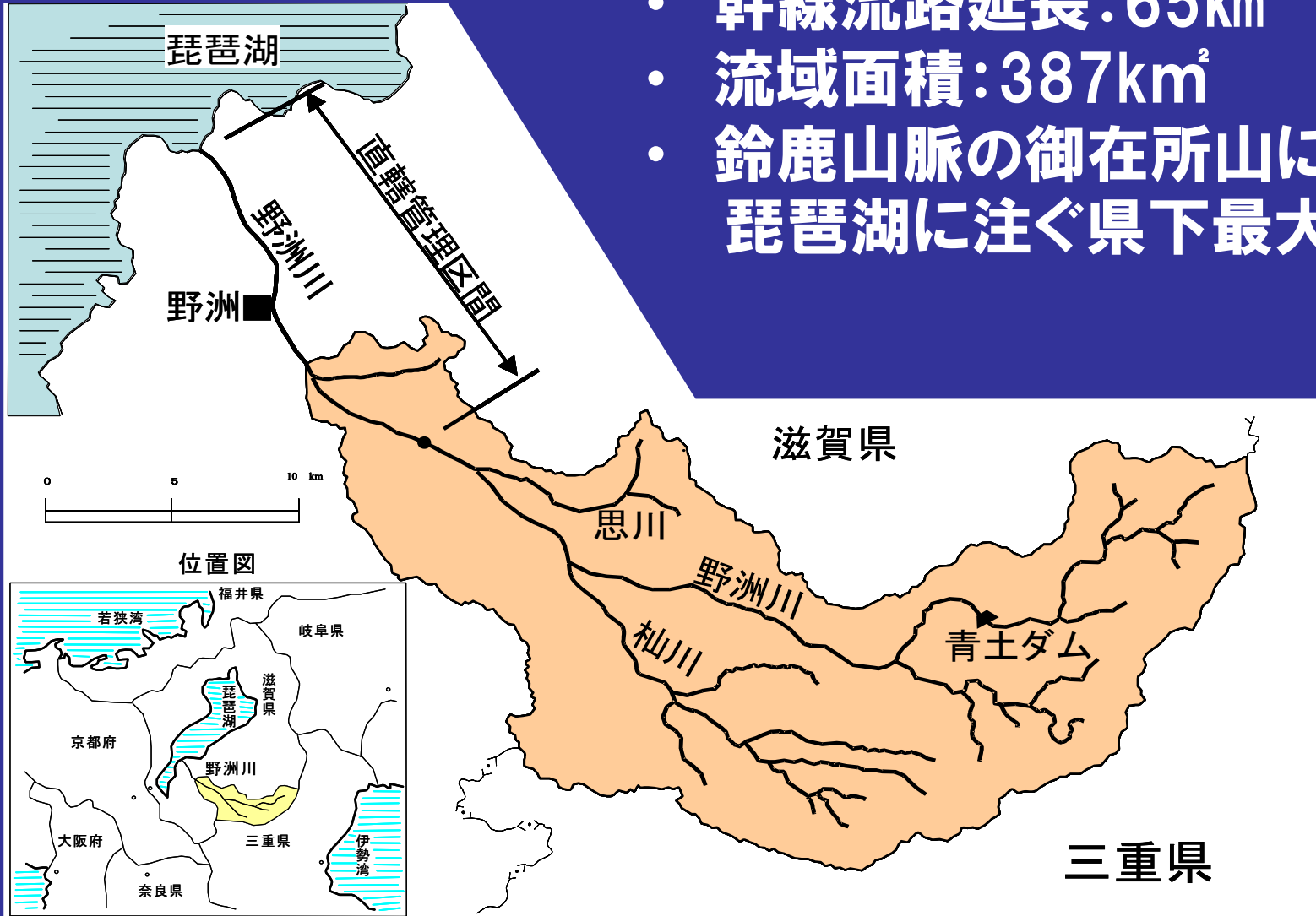
国土交通省 琵琶湖河川事務所

目次

1. 野洲川の概要
2. 自然環境の課題
3. 自然再生計画の目標
4. 自然再生事業の整備状況
5. モニタリング調査
6. モニタリング調査の実施状況
7. モニタリング調査の今後

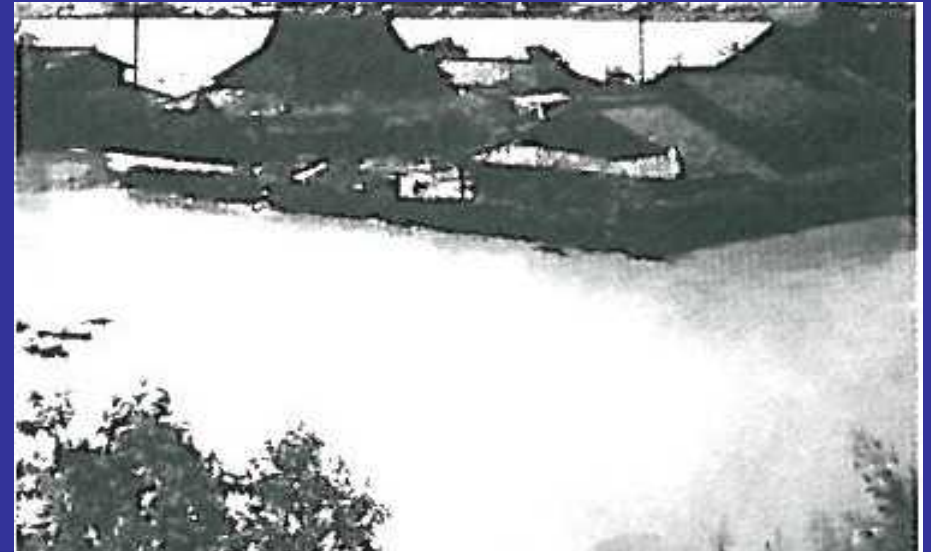
1. 野洲川の概要

- 幹線流路延長: 65km
- 流域面積: 387km²
- 鈴鹿山脈の御在所山に発し、琵琶湖に注ぐ県下最大の河川



1. 野洲川の概要

- ほぼ直線状に幅約300mの放水路が建設
- 昭和54年6月2日に通水



南流左岸堤壊による洲本地先の浸水状況状況
(S28.9.13台風)

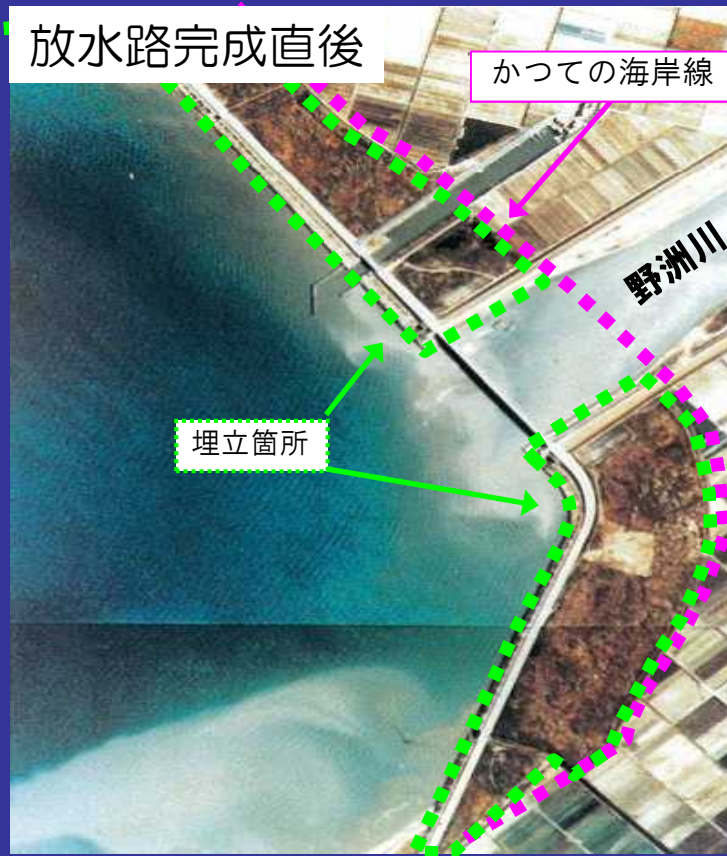


2. 自然環境の課題

構造物により

陸域⇔水際⇔水域

の横断方向の連続性が分断



1967年頃の吉川漁港



放水路完成後の河口部

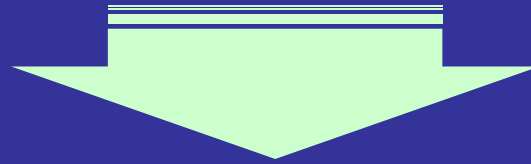


3. 自然再生計画の目標

【課題】

横断方向連続性の分断

- ・河口部のヨシ帯が消失
- ・陸域と水域をつなぐ水陸移行帯の連続性が分断



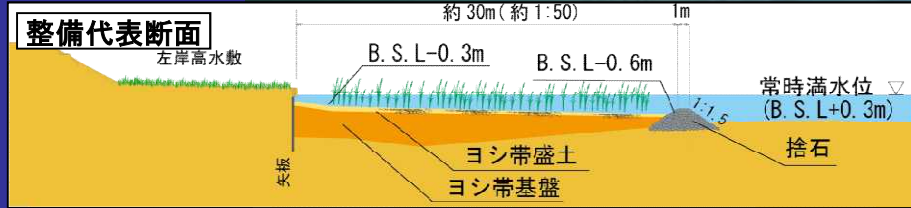
【目標】

魚類が棲みやすい河川環境を再生する

- ・横断方向連続性の回復
- ・河口部にヨシ帯を再生
- ・魚類等の産卵・生息環境の再生

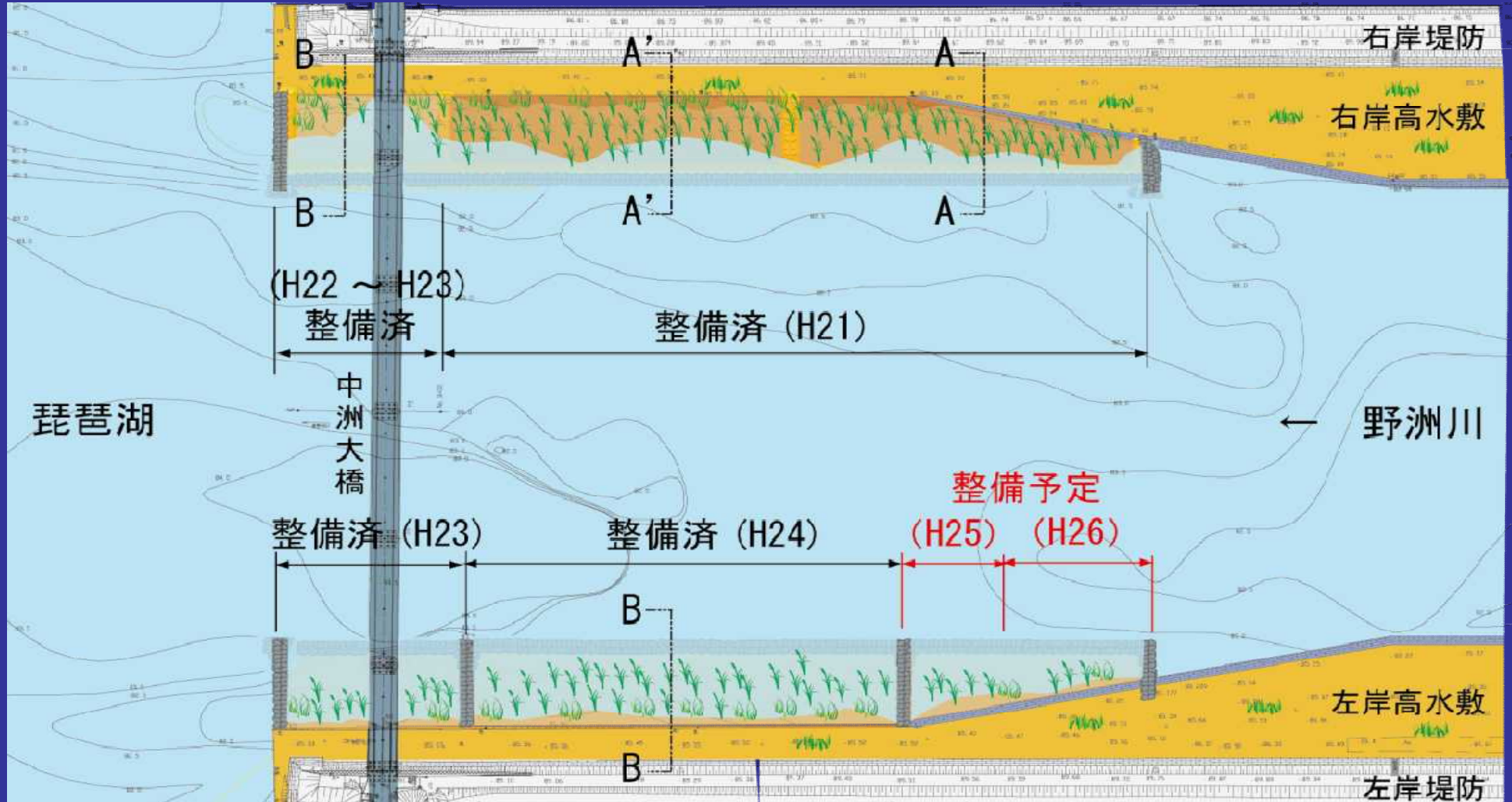
3. 自然再生事業の概要

- ・横断連続性の回復を図り、コイ科魚類等の産卵・生育環境の再生をねらい、野洲川河口部でヨシ帯を復元する



4. 自然再生事業の整備状況

【平面図】



4. 自然再生事業の整備状況

【右岸】

施工直後(平成22年4月23日)



施工後1年目(平成23年5月24日)



施工後2年目(平成24年10月19日)



施工後3年目(平成25年9月10日)



4. 自然再生事業の整備状況

【左岸】

施工前(平成24年10月19日)



施工直後(平成25年2月22日)



施工後7ヶ月(平成25年9月10日)

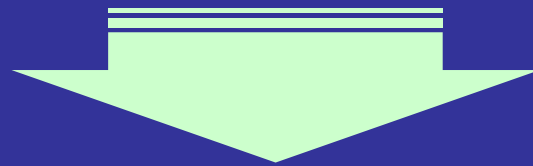


施工後7ヶ月(平成25年9月10日)



5. モニタリング調査

- ・野洲川河口部ヨシ帯再生事業が概ね完成してきおり、事業効果(再生したヨシ帯の成長の状況及び魚類の生育環境)を把握するためのモニタリング調査を行っている。
- ・今後、事業終了後においても継続して事業効果を把握するためのモニタリング調査を行う必要がある。
- ・モニタリング調査を行い、地元住民等に事業効果を広く知ってもらう必要がある。



地域と連携したモニタリング調査

6. モニタリング調査の実施状況

平成24年度より地元中学生と連携したモニタリング調査を実施
～再生したヨシ帯の成長の状況及び魚類の生育環境の調査～

1. 平成24年 5月 第1回 野洲川環境調査(植物、魚類)

2. 平成24年 7月 意見交換会

3. 平成24年10月 第2回 野洲川環境調査(植物、魚類)

4. 平成24年11月 調査結果とりまとめ、データ解析

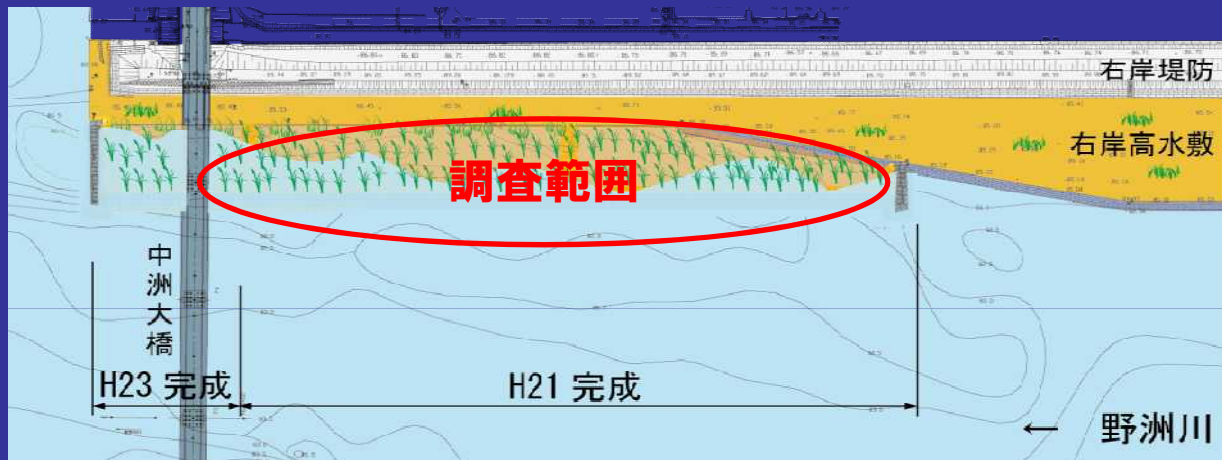
5. 平成24年12月 ヨシ帯再生箇所におけるヨシ植栽

6. 平成25年 1月 モニタリング調査成果発表会

6. モニタリング調査の実施状況

第1回 野洲川環境調査を実施(平成24年5月24日実施)

モニタリング(植生エリアのGPS計測、魚類調査)を実施



調査方法の説明



植生調査状況



魚類調査状況



6. モニタリング調査の実施状況

第2回モニタリング調査(平成24年10月19日実施)

生物図鑑を作成するためのモニタリング(植物調査・魚類調査)を実施

魚類等の生息状況を調査



植物調査状況



野洲川河口部 植物

9~10点 レア	5~8点 ややレア	1~4点 普通
ミスガヤツリ	カゼクサ	ツキヤカフ

ミスガヤツリ
レア
オアシの基で高さ30~50cmで繁るが、1m以上に育つこともある

レア
オアシの基で高さ30~50cmで繁るが、1m以上に育つこともある

キンシエンゴロ
10点
マールバヤハスソコ

野洲川河口部 魚類・エビ類

レア 30点 ややレア 20点

スナヤツメ	コイ	カマツカ
ウナギ	ギンブナ	スナガニコイ
ゲンゴロウフナ	コイ・フナ類の子種魚	ニコイ鱈
ニゴロフナ	カネヒラ	イトモロコ
ヤリタナゴ	ダナゴ類の子種魚	デメモロコ
タイリクバラタナゴ	オイカフ	スゴモロコ類
フタカ	カワムツ	その他コイ科の子種魚
ハス	アマムツ	ドジョウ
アジメドジョウ	アブラハヤ	シマドジョウ
アカザ	ウグイ	ギギ
ワカサギ	モツゴ	ナマス
ビワマス	ビワヒガイ	アユ
メダカ	ムギクク	オオクチバス
ワツセミカサガ	タモロコ	ドンコ
オヤニラミ	ホンモロコ	ウキゴリ
シルティラビア	ゼゼラ	

●とった数を「記録票」に記録してください。

【特典】各種10匹以上でポイントが2倍！

- 普通 10点
- オイカフ・カワムツ等の子種魚
 - ブルーギル
 - ヨシノボリ類
 - アマチチブ
 - アメリカザリガニ
 - カワリヌマエビ類
 - スシエビ
 - チバカエビ

30点 レア

スナヤツメ
1日目の産卵の跡がまだ残っている

ウナギ
10月15日の産卵の跡が確認されている

ゲンゴロウフナ
産卵の跡が確認されている

ニゴロフナ
フナ稚魚の産卵の跡が確認されている

ヤリタナゴ
産卵の跡が確認されている

タイリクバラタナゴ
産卵の跡が確認されている

ハス
産卵の跡が確認されている

アジメドジョウ
産卵の跡が確認されている

アカザ
産卵の跡が確認されている

ワカサギ
産卵の跡が確認されている

ビワマス
産卵の跡が確認されている

メダカ
産卵の跡が確認されている

ワツセミカサガ
産卵の跡が確認されている

オヤニラミ
産卵の跡が確認されている

シルティラビア
産卵の跡が確認されている

イサザ
産卵の跡が確認されている

カムルチー
産卵の跡が確認されている

6. モニタリング調査の実施状況

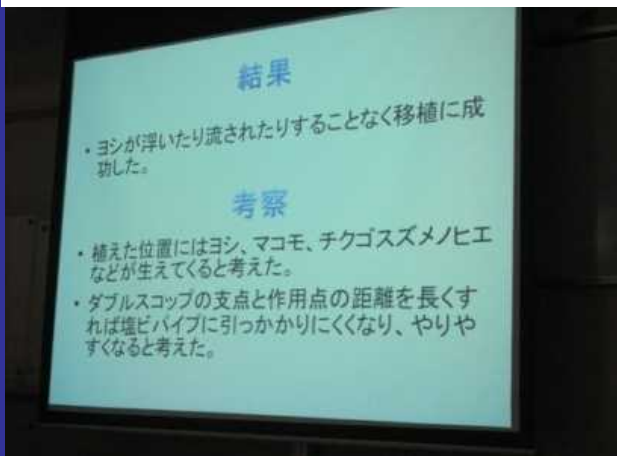
モニタリング調査とりまとめ成果発表会(平成25年1月12日実施)

植物調査、魚類調査、ヨシ植栽に関するとりまとめ成果の発表を行い、意見交換を行った。

とりまとめ成果発表状況



結果・考察



【中学生から出された主な意見】

- とても貴重な経験ができてありがたく思う
- 野洲川の自然をつくるような活動をする事なので、これからこのような活動を続けていきたい
- ヤナギの間引きを試してみたい
- ゴミの除去作業 & 雑草抜き

など

7. 今後のモニタリング調査

野洲川河口部ヨシ帯再生事業が終了した後も、継続して中学生と行政が協働してモニタリング調査を実施していくことができる仕組みを引き続き検討する。

また、住民と行政をつなぐコーディネータ(河川レンジャー)が参加し、この仕組みづくりを進めていく。



